

ディスクイレーサーの 消去モードとは？ 違いを分かりやすく解説



クイック消去

クイック消去は、ドライブの“インデックス”を消去します。データはソフトウェアツールを使用して復元できるため、同じ部署内でドライブを再利用する場合にのみこのオプションの使用をお勧めします。

セキュア/拡張セキュア消去

セキュア消去は、ATA規格の上書きコマンドであり、ファームウェアベースの処理を実行してメディアを上書きし、すべてのコンテンツを0または1に置き換えます。拡張セキュア消去処理は、メーカーによって異なり、単一の上書きパスよりも多くの処理工程を含む場合があります。これは、最も安全で最速の“セキュア”なデータ消去方法と考えられています。NIST 800-88では、ATAおよびソリッドステートドライブ（SSD）の完全消去操作として、この使用が同仕様を満たすとされています。

シングルパス消去

シングルパス消去は、ドックがドライブにディスク全体を上書き（通常はすべて0で上書き）するものです。例えば、SATDOCK2REU3は、スタンドアローンのシングルパス上書き消去に対応しています。この方法は、マルチパス消去（次のセクションを参照）よりも速く、セキュア消去よりも遅いものの、一部の環境においては十分な安全性を確保できない可能性があります。この機能は、セキュア消去が利用できない場合の代替手段であり、社内の異なる部署でドライブを再利用する際にはお勧めしません。

マルチパス消去（別名「DoD消去」）

マルチパス消去は、ドックがドライブに3回（またはそれ以上）の消去を実行させるものです。例えば、当社のSATERASER4のマルチパス処理は、NIST 800-88規格/仕様の要件を満たしています。NIST規格では、上書きおよびマルチパス上書きのみが明確な基準を満たしていますが、ATAセキュア消去コマンドは、現在、ドライブを安全に削除/消去する方法として正式に認められています。通常、最初のパスではすべての0を書き込み、2番目のパスではすべての1を書き込み、3番目のパスでは0と1をランダムに書き込みます。これは、単にシングルパス消去を複数回実行する方法とは異なります。マルチパス上書き（3回以上）を行なう一部のドックでは、通常、0x00を書き込み、次に0xFFを書き込み、最後にランダムな文字を書き込みます。

注意：すべてのドライブイレーサーが上記すべての消去モードを備えているわけではありません。製品の技術仕様を参照し、利用可能な消去モードを確認することが重要です。また、選択した消去方法が、それぞれの用途で求められる具体的な条件を満たしていることを必ず確認してください。

